

R4年度 事務事業評価シート

287

課・局・室・所(係)

総務課

総務法制係

事務事業番号

299990104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外	99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	情報公開・個人情報保護事業	4	個人情報保護事業(臨時分)				政策的	
事業概要	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による改正後の個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、各自治体において義務付けられた個人情報ファイル簿の整備及び公表に係る業務支援				対象	市民全般		
					手段	法律に適応した個人情報ファイル簿の整備及び公表		
					意図	市が保有する個人情報の適正な管理及び適切な公表による市政情報の共有により、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。		

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳					個人情報ファイル簿整備業務委託料	865千円	システム利用料	264千円
	合計					865千円		264千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					865千円		264千円
合計					865千円		264千円	
人工数	人件費				0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		1,152千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	個人情報ファイル簿の整備・公表	成果			100%	(設定しない)
2						
3						

成果	個人情報ファイル簿を整備及び公表し、個人情報の保護に関する法律に適合した個人情報の取り扱いに係る体制整備ができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

288 課・局・室・所(係) 総務課 総務法制係 事務事業番号 299990207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外	99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	文書・法制関係事務事業	7	例規整備支援事業				政策的	
事業概要	個人情報の保護に関する法律及び地方公務員法の改正に伴い、個人情報保護制度及び定年延長制度に係る例規の整備及び制度運用への対応。制度対応として、匿名加工情報の提供制度の導入、地方公共団体の独自の保護措置(独自条例)の検討、関連例規の改正等。また、制度を適切に運用するために、各所属へのヒアリングの実施、説明会の改正(WEB説明会を含む。)、制度運用マニュアルの作成等。				対象	市民全般及び職員		
					手段	改正個人情報保護制度及び定年延長制度導入に対する本市の適正な対応		
					意図	改正個人情報保護制度に対する適正な対応により、市政情報の共有による市民と行政の協働のまちづくりを推進する。定年延長制度導		

事業期間	R3 年度	~	R4 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			例規整備支援業務委託料	1,760千円	例規整備支援業務委託料	2,132千円		
	合計			1,760千円		2,132千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				1,760千円		2,132千円	
合計				1,760千円		2,132千円		
人工数 人件費			0.30人	1,735千円	0.25人	1,433千円		
総経費		千円		3,495千円		3,565千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	改正個人情報保護制度及び定年延長制度導入に係る例規整備及び適正な制度運用に係る委託業務の進捗率	成果		45%	100%	
2						
3						

成果	令和3年12月に議決された補正予算により、令和3年度中に専門業者と契約を締結し、業務を開始した。令和4年度は、例規の改正案と改正制度の手引きの提供などを受けた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R4	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

289 課・局・室・所(係) 総務課 総務法制係 事務事業番号 299990302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	文書管理関係事務事業	2	文書管理システム更新事業				デジタル化		行政内部管理
事業概要	現在使用している文書管理システムの利用契約が終了する令和5年1月からの契約の更新。 行政手続の電子処理化を促進するために、電子決裁機能を追加する。					対象	庁内事務		
						手段	文書管理事務の適切な運用		
						意図	文書事務の適切な運用を図る。		

事業期間	R3 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			システム利用料	938千円	システム利用料	4,706千円	システム利用料	7,579千円
	合計			938千円		4,706千円		7,579千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金	1,894千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			938千円		2,812千円		7,579千円
合計			938千円		4,706千円		7,579千円	
人工数	人件費		0.20人	1,157千円	0.40人	2,293千円		
総経費		千円		2,095千円		6,999千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	文書管理システムの更新による文書事務の効率の向上度合い	成果		設定しない	設定しない	設定しない
2						
3						

成果	電子決裁機能を追加した文書管理システムを導入し、令和4年12月26日から運用を開始した。				
R6年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

290 課・局・室・所(係) 総務課 総務法制係 事務事業番号 299990403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	9	施策体系外	99	施策体系外	99	施策体系外	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
4	一般管理事業	3	庁内電話・庁内放送管理事業(臨時分)				行政内部管理
事業概要	○本庁の環境改善事業に伴う内装改修工事において、現在倉庫や書庫として使用している場所に執務スペースを構築するため、電話回線敷設工事を執り行う。また、内装改修工事により執務スペースが移動となった部署の内線番号を変更する。○本庁の放送設備(回線含む)は1988年より更新しておらず、故障が多発し放送が流れないことが多々ある。また、配線は耐火仕様となっておらず、災害時には使用できなくなる。防災拠点としての市役所本庁舎において、放送機器が使用できないことは問題であり、放送設備を更新することにより防災に強いまちづくりにも寄与できる。時計については、放送設備とリンクしており、老朽化も著しいため併せて更新をする。				対象	市職員・市民	
					手段	放送設備を適切な時期に更新する。	
					意図	円滑な電話交換業務及び庁舎管理を行う。	

事業期間	R3 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			電話交換機パッケージ追加	550千円	機械器具費	18,169千円	修繕料	1,000千円
					工事請負費	715千円	備品購入費	1,346千円
	合計			550千円		18,884千円		2,346千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			550千円		18,884千円		2,346千円
合計			550千円		18,884千円		2,346千円	
人工数 人件費			0.05人	289千円	0.05人	287千円		
総経費		千円		839千円		19,171千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	電話交換機の更新	成果		更新	更新	維持管理
2	電話回線の敷設	成果				敷設
3						

成果	本庁舎の電話交換機については、令和3年度に更新予定であったが、物品の納品が完了しなかったため、予算を令和4年度に繰り越し、令和4年10月に更新を完了した。 電話回線の敷設については、建築主体・機械設備工事の着工の遅れにより、今年度は未実施となった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	早期に本庁舎時計及び放送設備を更新し、通常時及び災害時に本庁舎での業務を円滑に行えるよう整備する必要がある。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

291 課・局・室・所(係) 総務課 総務法制係 事務事業番号 299990409

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	一般管理事業	9	本庁舎環境改善事業					政策的
	耐用年数を迎える空調機の更新、老朽化の著しい屋上防水の施工、外壁の改修を行いつつ、スロープや多機能トイレ設置などのバリアフリー改修を始めとした、市民サービスの向上を企図した庁舎内の執務レイアウトの変更を行う。加えて、共済会館等の建物の解体並びに代替倉庫及び公用車庫の建設を位置づけるとともに、外構を整備する。また、設備更新後の本庁舎に対するLCC、BCP計画を策定し、災害時における活動等を確実なものとする。					対象	本庁舎		
						手段	施設整備、設備更新、LCC・BCP計画策定		
					意図	現在、将来にわたる行政活動を確実とするための拠点整備			

事業期間	R2	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳	委託料	1,500千円	工事請負費	44,244千円	工事請負費	259,540千円	工事請負費	350,995千円		
			設計委託料	3,760千円	監理委託料	3,400千円	庁用器具費	57,643千円		
			PCB廃棄物運搬処理業務委託料	1,105千円	本庁舎レイアウト整備業務委託料	3,305千円	本庁舎レイアウト整備業務委託料	18,192千円		
			庁用器具費	418千円	設計委託料	2,501千円	設計委託料	17,600千円		
			アスベスト調査委託料	188千円	廃棄物処分業務委託料	1,053千円	監理委託料	8,040千円		
			調査委託料	81千円	庁用器具費	1,043千円	機械器具費	3,138千円		
			その他	81千円	その他	834千円	その他	3,850千円		
合計	1,500千円		49,877千円		271,676千円		459,458千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金				100%	1,025千円				
	県支出金									
	地方債		75%	32,100千円	90%、75%	187,900千円	90%、75%	293,100千円		
	その他						コロナ基金	8,500千円		
	一般財源	1,500千円		17,777千円		82,751千円		157,858千円		
	合計	1,500千円		49,877千円		271,676千円		459,458千円		
人工数 人件費	0.05人	290千円	1.41人	8,155千円	1.56人	8,943千円				
総経費		1,790千円		58,032千円		280,619千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	施設整備、設備更新	実施設計	実施設計・外壁等工事	外壁等工事・内装等工事	内装等工事
		見直し	工事進捗率	工事進捗率	
		30.00%	38.50%	外壁等100% 内装等5%	
2					
3					

成果	令和3年度から令和4年度にかけて行う外壁改修工事及び防水改修工事、令和4年度に行う停電対応型エアコン設置工事が完成した。 令和4年度から令和5年度にかけては内装改修工事及び空調改修工事を行うため、令和4年12月に工事請負契約を締結し着工している。				
R6年度に向けた課題及び改善策	本庁舎本館については今後20年程度利用するための改修工事を進めているが、老朽化した本庁舎敷地内の倉庫等を解体及び再整備する必要がある。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

292

課・局・室・所(係)

総務課

総務法制係

事務事業番号

299990413

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	一般管理事業	13	山陽小野田市庁舎建設整備基金事業						行政内部管理
事業概要	令和3年度に耐震工事が終了し、庁舎の長寿命化を図ったが、十数年後には庁舎の建設又は大規模な整備の検討が必要になる。庁舎建設等には多額の経費が必要となるが、一般財源等を活用して計画的に基金に積み立てることで、庁舎建設の財源として活用することが可能となる。また、この基金を活用することにより、庁舎建設時の市の財政負担を軽減するとともに、将来世代への負担も軽減することができ、税の平準化に資することが可能となる。					対象	市役所に来庁する市民全般を対象とする		
						手段	基金を設置し、運営することにより世代間の費用負担割合を公平にする		
						意図	庁舎建設整備時の財政負担の軽減を図る		

事業期間	R3 年度	~	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			積立金	100,000千円	積立金	105,000千円	積立金	100,000千円
					利息	1千円	利息	8千円
	合計			100,000千円		105,001千円		100,008千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				寄附、利息	5,001千円	利息	8千円
	一般財源			100,000千円		100,000千円		100,000千円
合計			100,000千円		105,001千円		100,008千円	
人工数 人件費			0.05人	289千円	0.05人	287千円		
総経費		千円		100,289千円		105,288千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	基金積立	活動		設置・積立	積立	積立
2	基金残高	活動		100,000,000円	205,000,955円	
3						

成果						
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	山陽小野田市庁舎建設整備に係る費用の積立					

R4年度 事務事業評価シート

293

課・局・室・所(係)

総務課

総務法制係

事務事業番号

299990414

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外	99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	一般管理事業	14	他に属さない事務事業(臨時)				行政内部管理	
事業概要	令和3年度主要県道小野田山陽線単独道路改良(県道・指)工事第4工区(山口県事業)の令和4年度の繰越に伴い、令和4年度内に山陽小野田市日の出地内の道路拡幅工事を行うこととなった。当該工事箇所には市が設置した大型の案内標識が1基存在しており、道路拡幅工事の支障となるため、令和4年12月末までに大型の案内標識を撤去する。				対象	全市民		
					手段	既設の案内標識を撤去し、処分する。		
					意図	県道工事に協力することで、市民が待ち望む県道拡幅工事の早期終了に協力する。		

事業期間	R4 年度	~	R4 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					工事請負費	434千円		
	合計					434千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					434千円		
合計					434千円			
人工数	人件費				0.02人	115千円		
総経費		千円		千円		549千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	案内標識撤去工事			設計・撤去	
2					
3					

成果	県道改良工事の支障とならない時期に案内標識の撤去工事を完成した。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R4	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

294

課・局・室・所(係)

総務課

総務法制係

事務事業番号

299990801

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
8	新型コロナウイルス等感染症対策事業	1	新型コロナウイルス等感染症対策基金事業						行政内部管理
事業概要	イベントの中止等に伴い不要となった一般財源や寄附金を活用して基金に積み立てることで、新型コロナウイルス等感染症の影響に伴う市民への生活支援、事業者への経済支援、新たな感染症の発生を想定した事前の備え等を実施するに当たって財源として活用し、もって市民の安全安心の確保と市内経済の活性化に寄与することを目的とする基金の造成等を行うもの。					対象	市民全般を目的とする		
						手段	基金を設置し、運営することによりクラスター等発生時の財政負担を軽減する		
						意図	市民の安全安心の確保及び市内経済の活性化を図る		

事業期間	R2 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳			積立金	1,000千円	積立金	4,511千円	積立金	1,000千円	
			利息	1千円	利息	1千円	利息	2千円	
合計				1,001千円		4,512千円		1,002千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他			寄附金・利息	1千円	寄附金・利息	3,512千円	寄附金・利息	2千円
	一般財源				1,000千円		1,000千円		1,000千円
合計				1,001千円		4,512千円		1,002千円	
人工数 人件費			0.25人	1,446千円	0.15人	860千円			
総経費		千円		2,447千円		5,372千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	基金積立	活動	設置・積立	積立	積立	積立
2	基金残高	活動	38,057,240円	38,262,587円	42,773,969円	
3						

成果	新型コロナウイルス等感染症の影響に伴う市民への生活支援、事業者への経済支援、新たな感染症の発生を想定した事前の備え等を実施するに当たって財源として活用するため、基金を積み立てた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持		
特記事項	新型コロナウイルス等感染症対策に係る寄附金の積立					

R4年度 事務事業評価シート

295 課・局・室・所(係) デジタル推進課 事務事業番号 299991602

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
16	住民情報系システム管理・運営事業	2	情報システム標準化・共通化事業						政策的
事業概要	令和3年7月7日に総務省より「自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書」が発行され、「自治体DX推進計画」に則って、令和7年度までに国の推し進めるガバメントクラウド(仮称)に移行する。					対象	住民情報系システム		
						手段	システム更新		
						意図	安定稼働		

事業期間	R3 年度	～	R7 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳							電算委託料	6,270千円
	合計							6,270千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						デジタル基盤改革支援補助金	6,270千円
	一般財源							
合計								6,270千円
人工数 人件費					0.25人	1,433千円		
総経費			千円			千円	1,433千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	標準仕様書の確認		現行システム概要調査 未実施	標準仕様との比較分析 現行システム概要調査	移行計画作成
				100.00%	
2					
3					

成果	やまぐち自治体クラウド協議会においてRFIを行い、業者選定を行った。					
R6年度に向けた課題及び改善策	R7年度移行に向けて、各業務担当課と情報共有・調整を行い、移行作業を進める。国に対しては、補助金の増額を求める。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

296

課・局・室・所(係)

デジタル推進課

事務事業番号

299991702

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
17	内部情報系システム管理・運営事業	2	行政系端末更新事業						行政内部管理
事業概要	行政系ネットワークシステムで現行利用しているWindows8.1端末のサポートが令和5年1月11日で終了するため、令和4年度に端末600台を更新する。また、現在使用しているoffice2013の延長サポートについても令和5年4月11日に終了するため、併せて更新する必要がある。					対象	内部情報系システム		
						手段	端末の更新		
						意図	システムの安定稼働		

事業期間	R3 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			備品購入費	660千円	機械器具借上料	2,544千円	廃棄物処分業務委託料	
					消耗品費	2,135千円		
					システム利用料	8,585千円		
					機械器具費	401千円		
	合計			660千円		13,665千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			660千円		13,665千円		
合計			660千円		13,665千円			
人工数 人件費			0.05人	290千円	0.70人	3,685千円		
総経費		千円		950千円		17,350千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	端末更新	活動		中古端末購入 中古端末購入 100.00%	端末更新 端末更新 100.00%	
2						
3						

成果	行政系端末600台をノートPCへ更新を行った。併せて庁内LAN整備の無線化(Wi-Fi)を行ったことで会議等のペーパーレス化へも対応した。 オフィスソフトには、Microsoft365を採用し、認証方法も構築した。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R4		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

297

課・局・室・所(係)

デジタル推進課

事務事業番号

299991803

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
18	高度情報通信基盤管理・運営事業	3	国道190号日の出電線共同溝設置に伴うイントラネット光ケーブル入溝事業						行政内部管理
事業概要	国が国道190号線の電線地中化を進めており、日の出地区(新生町交差点付近から長田屋橋交差点付近までの区間)において平成30年度から設計が始まり、令和4年度に共同溝設置工事が実施される予定である。これに伴い、令和2,3年度に共同溝設置工事費の負担金、令和4年度に電柱から共同溝までの連携管路設置費用とケーブルの入線費用が必要となる。 該当:国道190号の横断1か所(共同溝施工区域内管路延長71.2m、連携部分30.4m)					対象	高度通信基盤		
						手段	共同溝への入溝		
						意図	国の事業に伴い実施するもの		

事業期間	R1以前	年度	～	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
	日の出地区電線共同溝負担金	15千円		日の出地区電線共同溝負担金	27千円	工事委託料	1,547千円	工事委託料	6,644千円	
	合計	15千円		27千円		1,547千円		6,644千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	15千円		27千円		1,547千円		6,644千円		
合計	15千円		27千円		1,547千円		6,644千円			
人工数	人件費	0.02人	116千円	0.02人	116千円	0.02人	115千円			
総経費		131千円		143千円		1,662千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	共同溝への入溝を実施	活動			入溝を実施 連携管路設置 50.00%	
2						
3						

成果	国の工事の遅れに伴い令和4年度は連携管路設置までに留まった。 令和5年度にケーブルの入線工事を行う。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

298

課・局・室・所(係)

公営競技事務所

事務事業番号

299993101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
31	オートレース運営事業	1	オートレース運営事業						行政内部管理
事業概要	オートレース事業のうち、施行者の固有事務を除く、競走の実施に関する事務を包括的民間委託することにより、事業継続を図る中で、市の収益保証を確保し、累積赤字及びリース料残額の累積債務の解消を図っていく。 ※令和4年度以降については、包括的民間委託契約にミッドナイトオートレース運営事業も含める。					対象	オートレース運営事業		
						手段	包括的民間委託 ※令和4年度以降については、包括的民間委託契約にミッドナイトオートレース運営事業も		
						意図	開催業務を包括的民間委託することで、安定的な収益を確保する		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	特会(小型)
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	(通常開催)		(通常開催)		(通常開催)		(通常開催)			
	包括的民間委託料	465,127千円	包括的民間委託料	413,492千円	包括的民間委託料	716,243千円	包括的民間委託料	716,243千円	包括的民間委託料	1,027,047千円
	義務的経費	12,273,778千円	義務的経費	13,727,435千円	義務的経費	15,018,127千円	義務的経費	15,018,127千円	義務的経費	17,657,131千円
	開催経費	4,238,735千円	開催経費	4,770,399千円	開催経費	4,690,026千円	開催経費	4,690,026千円	開催経費	5,685,209千円
	リース料	76,713千円								
	その他	31,513千円	その他	32,418千円	その他	219,869千円	その他	219,869千円	その他	40,679千円
	基金積立金他	324,709千円	基金積立金他	366,009千円	基金積立金	380,012千円	基金積立金	380,012千円	基金積立金	876,097千円
合計	17,410,575千円		19,386,466千円		21,100,990千円		21,100,990千円		25,362,876千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	発売収入等	17,410,575千円	発売収入等	19,386,466千円	発売収入等	21,100,990千円	発売収入等	21,100,990千円	25,362,876千円
	一般財源									
合計	17,410,575千円		19,386,466千円		21,100,990千円		21,100,990千円		25,362,876千円	
人工数	人件費	4.33人	22,935千円	5.09人	29,051千円	4.73人	27,117千円			
総経費		17,433,510千円		19,415,517千円		21,128,107千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	本場開催売上収入 (通常開催・重勝式/ミッドナイト開催) 【単位:千円】	13,464,124/4,264,068	14,245,663/7,318,670	14,751,981/9,870,000	13,347,726/11,150,000
		12,549,958/4,229,451	11,187,935/7,912,036	11,335,679/9,548,054	
		93.21%/99.2%	78.53%/108.1%	76.84%/96.7%	
2	実質収支改善額(2つの債務額解消額及び基金増減額) 【単位:円】	238,393,000	459,056,000	579,061,000	669,059,000
		430,625,452	570,851,499	588,665,979	
		180.64%	124.35%	101.66%	
3	包括的民間委託による収益確保 (市収益保証) 【単位:円】	60,000,000	60,000,000	823,213,000	915,185,000
		59,651,493	50,461,512	694,846,914	
		99.42%	84.10%	84.41%	

成果	本場開催売上収入は、主にミッドナイト開催の売上は増となったものの、重勝式(当たるんです)の売上が減少したため目標額に達しなかったが、施設改修等整備事業のための施設改善基金を着実に積み上げることができ、実質収支改善額も目標額を上回る結果となった。(開催日数 令和2年度 通常51日、ミッド38日 令和3年度 通常52日、ミッド60日 令和4年度 通常58日、ミッド77日)				
R6年度に向けた課題及び改善策	包括的民間委託契約による収益保証額は概ね確保できているが、安定的な市の収益保証を確保するためには、ミッドナイト開催を中心とした本場開催売上収入の更なる向上が不可欠なため、日程調整を含め、開催日数についても、業界内での調整などにより、収益を確保できる範囲で拡大を検討する。また、重勝式(当たるんです)については、広告連携などにより、認知度を高め、売上の向上を図る必要がある。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項	令和4年度以降については、包括的民間委託契約にミッドナイトオートレース運営事業も含める。				

R4年度 事務事業評価シート

299

課・局・室・所(係)

公営競技事務所

事務事業番号

299993103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
31	オートレース運営事業	3	山陽オートレース場スタンド棟等整備事業						政策的
事業概要	○鉄筋コンクリート造 ○一部鉄骨構造5階地下1階 ○延床面積14,390㎡ ○基本構想・基本計画に基づき、新築・減築に向けた基本設計・実施設計を令和2年度中の完成を目指していたが、詳細設計を終えることができなかった。したがって、施設改修中における施設の使い方や営業方法を含め、施設整備に係る全体的な見直しを行う。					対象	山陽オートレース場スタンド棟等		
						手段	耐震工事、改修及び解体・新設		
						意図	関係法令等に基づいて施設の築・減築を図る		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	特会(小型)
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	設計委託料	18,063千円								
	不用品処分	3,580千円								
	合計	21,643千円								
	国庫支出金									
県支出金										
地方債										
その他	施設改善基金等	21,643千円								
一般財源										
合計		21,643千円								
人工数	人件費	1.30人	7,516千円	1.36人	7,865千円	0.97人	5,551千円			
総経費		29,159千円			7,865千円		5,551千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	～R2:基本設計・実施設計、不用品処分、R3グリーンハウス、補助スタンド解体、R4:西スタンド4階改修、R5:仮設審判台新設	46,641,640	0	0	0
		21,642,660	0	0	
		46.40%	0.00%	0.00%	
2	オートレース場全体の事業計画について今後の方向性を再検討				
3					

成果	基本構想・基本計画に基づき、新築・減築に向けた基本設計・実施設計を令和2年度中の完成を目指していたが、詳細設計を終えることができなかった。				
R6年度に向けた課題及び改善策	これまでの経緯を踏まえながら課題等を整理し、整理内容やこれまで設計会社から提出された成果物を参考に、オートレース場全体の事業計画について今後の方向性を再度模索するため、コンサルなどの専門業者に調査を依頼することを検討中。				
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

300

課・局・室・所(係)

公営競技事務所

事務事業番号

299993104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	9	施策体系外	99	施策体系外	99	施策体系外	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
31	オートレース運営事業	4	選手退職金支給制度一部補助事業				政策的
事業概要	一般社団法人全日本オートレース選手会共済会の退職金制度は財政状況の悪化から新規の積立を受け付けておらず、H27年度以降選手登録された選手については、退職(引退)時に同会からの退職金支給が全くない状況である。このような中、選手会山陽支部では、退職(引退)後の選手の生活の安定を図るため、独自の退職金制度の創設を企図している。同制度は、各選手が毎年一定額(現時点の案:20万円程度×所属選手70人)を積み立てることを想定している。本事業は、レースの主役として公営競技事業運営に多大な貢献を果たしてきた選手の処遇改善ため、市としても同制度に対し予算の範囲内で一部補助を行い、ひいては優秀な選手の確保とそれによる売上の向上を図るもの。				対象	一般社団法人全日本オートレース選手会山陽支部	
					手段	同支部の退職金支給制度への補助金支出	
					意図	選手の処遇改善及びそれを通じた優秀な選手の確保と売上の向上	

事業期間	R3 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	特会(小型)
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳			負担金、補助及び交付金	2,000千円	負担金、補助及び交付金	2,000千円	負担金、補助及び交付金	3,000千円
	合計			2,000千円		2,000千円		3,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		発売収入等	2,000千円	発売収入等	2,000千円	発売収入等	3,000千円
	合計			2,000千円		2,000千円		3,000千円
人工数	人件費		0.02人	116千円	0.01人	57千円		
総経費		千円		2,116千円		2,057千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	補助金支出額	活動	—	2,000,000	2,000,000	3,000,000
			—	2,000,000	2,000,000	
			—	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	予定どおりの額の補助を行い、選手の処遇改善に寄与し、優秀な選手の確保のための方策を構築できた。				
R6年度に向けた課題及び改善策	売上の動向や収支状況にもよるが、当面現状を維持。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

301

課・局・室・所(係)

公営競技事務所

事務事業番号

299993201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
32	地域公益事業	1	地域公益事業						政策的
事業概要	売上金の一部を地域福祉、体育等の振興に寄与することを目的とし、周辺対策事業の一環として、市内全域を対象に公共施設の改修を行う。					対象	バリアフリー化や施設改修が必要な公共施設		
						手段	施設改修として費用負担		
						意図	地域福祉、体育等の振興に資する		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	特会(小型)
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	地域公益事業	13,050千円	地域公益事業	11,870千円	地域公益事業	15,439千円	地域公益事業	20,000千円		
	合計	13,050千円		11,870千円		15,439千円		20,000千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	発売収入等	13,050千円	発売収入等	11,870千円	発売収入等	15,439千円	発売収入等	20,000千円	
	一般財源									
合計	13,050千円		11,870千円		15,439千円		20,000千円			
人工数	人件費	0.31人	1,775千円	0.29人	1,677千円	0.29人	1,663千円			
総経費		14,825千円		13,547千円		17,102千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	地域公益事業(工事請負費、修繕料、備品購入等)	15,000,000	17,000,000	20,000,000	20,000,000
		13,049,960	11,870,276	15,439,050	
		87.00%	69.83%	77.19%	
2					
3					

成果	企画課で集約・調整した各課からの要望に対する事業を着実に実施し、地域福祉や体育等の振興に寄与した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	売上の動向や収支状況にもよるが、当面現状を維持。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

302

課・局・室・所(係)

出納室

出納係

事務事業番号

299993604

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
36	適正な公金の収納・支払及び管理事務事業	4	データ伝送化支払事務						政策的
事業概要	債権者に対する迅速かつ正確な支払のため、支払口座データを作成後、指定金融機関へAnserDATAPORTを利用したデータ伝送による支払事務を行う。					対象	全ての口座振込による支払		
						手段	LGWAN接続サービスを使って支払データ伝送を行う		
						意図	公金の適正管理・執行		

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					手数料	249千円	手数料	660千円
	合計						249千円	660千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						249千円	660千円
合計						249千円	660千円	
人工数	人件費				0.25人	1,433千円		
総経費		千円		千円		1,682千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	データ送信件数 令和4年12月～	成果			34773	
2						
3						

成果	出納室での定期的の口座支払や給付金の支払いに対応した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	課題は、誤振込等がないよう、正確さを最優先とすること。 今後は、迅速かつ正確な支払のため、業務に携わるすべての職員の意識の向上を求める。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

303

課・局・室・所(係)

出納室

出納係

事務事業番号

299993606

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
36	適正な公金の収納・支払及び管理事務事業	6	指定金融機関派出所設置事務						政策的
事業概要	地方自治法の規定により、地方公共団体は金融機関を指定して公金の収納、支払業務を取り扱うことになっている。 これらの業務について、指定金融機関である山口銀行が支払業務等を適正かつ正確に、効率よく行うための派出所業務に係る応分の手数料を支払う。					対象	全ての歳入歳出金		
						手段	指定金融機関派出所業務に係る応分の手数料を支払う		
						意図	公金の適正管理・執行		

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					手数料	2,200千円	手数料	2,200千円
	合計						2,200千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						2,200千円	
合計						2,200千円		2,200千円
人工数 人件費					0.10人	573千円		
総経費			千円				千円	2,773千円

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1					
2					
3					

成果	公金取扱業務を効率よく執行した。				
R6年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

304

課・局・室・所(係)

教育総務課

総務係

事務事業番号

299993806

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外	99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
38	教育委員会事業	6	教育委員の資質・能力向上事業				政策的	
事業概要	教育長及び教育委員が、全国研修大会への参加や他自治体の視察等を行い、地域の実情や特性に応じた特色ある優れた施策についての意見交換や教育委員会のあり方等について研究協議等を行い、その職務遂行に必要な見識を深め資質・能力を向上させる。				対象	山陽小野田市教育委員会教育長及び教育委員		
					手段	全国研修大会に参加する。		
					意図	教育委員会の審議を活性化し、教育行政の一層の推進を図る。		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳									費用弁償	201千円
						普通旅費 (長崎市)	38千円	普通旅費	51千円	
	合計							38千円		252千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							38千円		252千円
合計							38千円		252千円	
人工数	人件費	0.03人	174千円	0.01人	58千円	0.05人	287千円			
総経費		174千円		58千円			325千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	研修参加人数	活動	5人	5人	5人
			4人	0人	2人
			80.00%	0.00%	40.00%
2					
3					

成果	長崎市及びオンラインで開催された「令和4年度市町村教育委員会研究協議会」に、教育長及び教育委員が参加。各市町村教育委員会において展開されている施策について情報交換や研究協議を行い、見識を深めることにつながった。				
R6年度に向けた課題及び改善策	対面又はオンラインによる研修に積極的に参加していく。				
目標達成度	D	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

305

課・局・室・所(係)

選挙管理委員会事務局

事務事業番号

299994310

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	43	選挙の管理施行事業	10	期日前投票所増設事業(大型商業施設)					政策的
	全国的に、選挙人の利便性を高めるため、人が多く集まる大型商業施設等に期日前投票所を開設する自治体が増えている。本市においても、投票率が低い若年層が多く集まる大型商業施設(おのだサンパーク)に期日前投票所を増設し、選挙人の利便性を高める。開設時期は、事業費の9分の5を国会議員選挙費国庫委託金での補填が見込まれ、選挙執行時期が確定している令和4年参議院議員通常選挙からとする。					対象	大型商業施設を利用する有権者		
						手段	市幹線のネットワークを分岐し、期日前投票所設置予定箇所にネットワークを延長する。		
						意図	選挙人の利便性の向上		

事業期間	R3 年度	~	R4 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			調査委託料	299千円	報酬	30千円		
					時間外勤務手当	73千円		
					委託料	5,793千円		
					選挙用器具費	2,687千円		
					会場使用料	29千円		
合計				299千円		8,612千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金				10/10(備品など一部は5/9)	4,924千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				299千円		3,688千円	
合計				299千円		8,612千円		
人工数 人件費			0.07人	405千円	0.06人	344千円		
総経費		千円		704千円		8,956千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	専用回線の整備	成果			完了	
2	選挙用備品の購入	成果			完了	
3						

成果	市と市内商業施設とを光ファイバーで結び、期日前投票所を設置できるようになった。費用は国庫支出金で補填することができた。今後も各選挙で本期日前投票所を設置し、投票機会の確保を行う。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和4年度事業完了					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R4	
特記事項	(R3決算額の調査委託料299,200円は補正予算措置。R4決算額は令和4年参議院議員選挙で当初予算措置。					

R4年度 事務事業評価シート

306

課・局・室・所(係)

選挙管理委員会事務局

事務事業番号

299994402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	9	施策体系外	99	施策体系外		99	施策体系外		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
44	選挙啓発事業	2	主権者教育事業						政策的
事業概要	選挙人の年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い新たに有権者となる者や、将来の有権者を含む若年層に対し、学校、教育委員会等と連携して、選挙の意義や重要性の理解を深めるため実施している出前講座の拡充強化を図る。					対象	有権者、候補者、関係機関		
						手段	出前講座の実施		
						意図	有権者の政治参加を促すことによる健全な民主政治の発展		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳									消耗品費	
	合計									
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計										
人工数	人件費	0.10人	580千円	0.01人	58千円		0.04人	229千円		
総経費			580千円		58千円			229千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	出前講座開催学校数	活動	4校	1校	4校	4校
			1校	0	1	
			25.00%	0.00%	25.00%	
2						
3						

成果	市内中学校に赴き、選挙についての講座を実施。中学生向けに模擬選挙を行うなどして啓発を行った。				
R6年度に向けた課題及び改善策	出前講座は市教育委員会との調整を図り開催数を増加したい。また、市内学校から生徒会選挙のため選管所有の投票箱の貸出依頼があり、貸出をしている。この機会を利用してアプローチできないか検討したい。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					